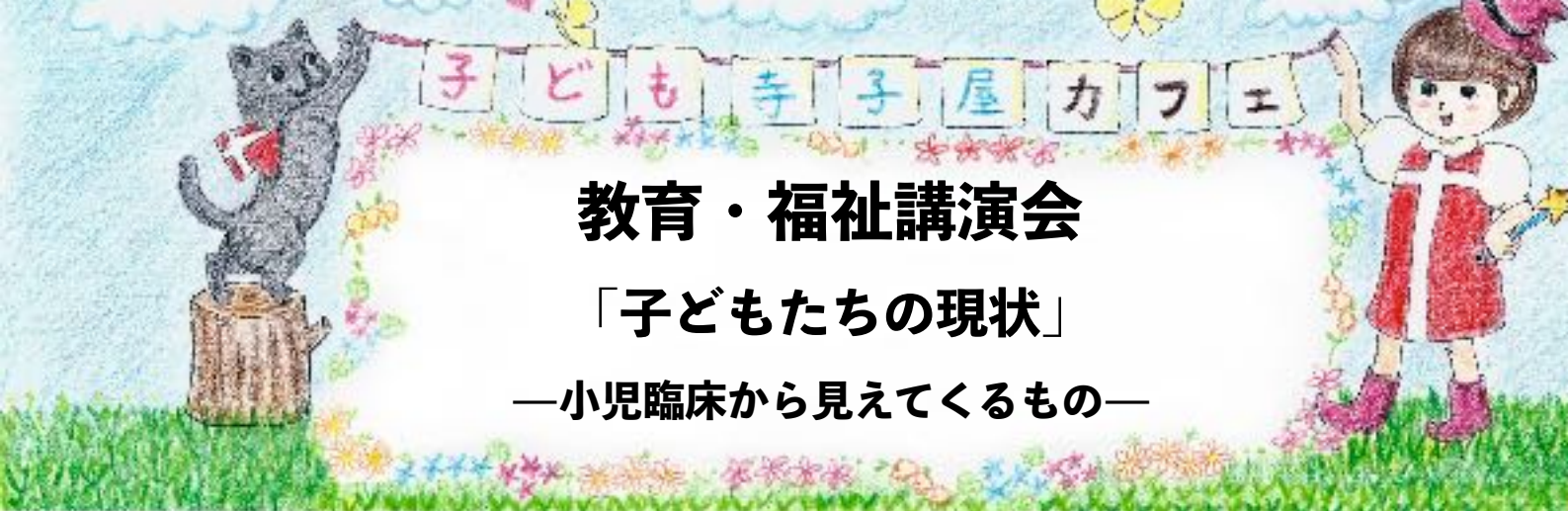




教育・福祉講演会

「子どもたちの現状」

—小児臨床から見えてくるもの—

下関の「かねはら小児科」は、子どもたち、障がい者、障がい児、医療ケア児などとの共生をめざす地域医療で全国に知られます。金原洋治院長は若い頃、新生児医療で取り上げた子どもたちを支援すべく、親たちと重症心身障害者のための社会福祉法人「じねんじょ」をつくり、大人になっても支援してきました。下関市に暮らす障がいをもつ人、子どもたちの心強い味方です。

40年以上にわたる小児科診療を通して、悩みを抱える子どもや親たちを支え、相談にのってきました。よいお医者さんという評判を聞き、下関だけでなく、北九州市から通う人もいます。今回は、**今の生活環境やコロナ下で子どもたちの抱える不安、見えない心身症、ゲームとのつきあいなど、小児科医として子どもたちの診療を通して見た姿、対応などをお話します。**

金原先生は、発達障害の子ども、医療的ケアが必要な子どもたちについても早くから支援しており、「緘黙」では権威の一人です。これについては、別の機会にお話していただく予定です。

日時 2月23日（水、祝日）午後2～4時

場所 メイトム宗像2F 202会議室

演題「子どもたちの現状—小児臨床から見えてくるもの—」

講師 金原洋治医師

下関市・かねはら小児科院長
社会福祉法人じねんじょ理事長

参加費 無料

（終了後、希望者は講師との交流会があります。交流会参加費はコーヒーとケーキ代実費の500円です）。

定員 30人 託児（幼児）あり（要事前申込み）。

主催「子ども寺子屋カフェ」を運営する会

問い合わせ、申込先 Tel.070-1374-8968/
mann@asahi.email.ne.jp（清水）

子ども寺子屋カフェは、デンマーク式ワークショップを中心とした子どもの活動場所、子ども食堂です。

宗像市人づくりでまちづくり事業



金原洋治院長



診察をする金原先生

白衣を着ないお医者さんです

新型コロナウイルス感染状況の悪化などで中止の場合もあります。あらかじめご了承ください。